

◆生活環境の整備、安心・安全なまちづくり

■地域公共交通の再編・運行 見直し (7,494万円)

地域公共交通計画や利便増進計画に基づき、地域公共交通の再編を行います。令和7年度中に、町営バスのルートおよびダイヤの見直しや、デマンドタクシーの実証運行を行いました。それらを踏まえ、町営バス運行の再編に必要なバス停などの整備や、デマンドタクシーを本格的に稼働させていきます。



■防災行政無線同報系システム設備更新(1億6,721万円)

令和7年度に引き続き、耐用年数を迎えた防災行政無線の機器を更新します。財源として緊急防災・減災事業債を活用し、令和7年度から令和9年度までの3年間で順次更新します。



■町道・林道・橋りょうの維持及び改良(1億6,600万円)

狭あい道路の改良や、舗装補修工事、橋りょうの点検・補修を進め、安全で快適な道路環境を確保します。

◆いきいきとした生活の実現(※国保特会の分も掲載します)

■女性の健康応援事業 新規 (一般会計：162万円)

ライフステージに応じた女性特有の健康課題に対し、正しい知識の普及や継続した健康習慣の醸成を図ります。外部講師による健康力向上セミナーや健康を支えるレシピの料理教室、骨密度検査の要注意者に向けた個別受診勧奨などを行います。

■高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施(一般会計：348万円)

要介護要因や医療費の増大要因として骨折が上位にあることを踏まえ、骨粗しょう症ハイリスク者や転倒ハイリスク者に焦点を当て、骨密度検査の受診勧奨や転倒予防指導を実施し、骨折予防に取り組みます。

■がん患者アピアランスケア用品購入補助 新規 対話から事業化 (一般会計：10万円)

がん治療に伴う外見の変化を受けたかたへの支援として、アピアランスケア用品(ウィッグや胸部補正具など)の購入費用の一部を助成します。

■特定保健指導(国保特会：83万円)

特定保健指導の改善効果を高めるため、専門性の高いRIZAPと連携し、ICTを活用したオンライン保健指導を実施します。対象者に合わせた食事管理や運動習慣の定着を促し、メタボリックシンドロームや生活習慣病予防を図ります。

■脳の健康度チェック(一般会計：18万円、国保特会：39万円)

認知症は初期症状のうちに発見し、早期に対策を講じることで認知機能の改善や認知症の進行を遅らせることができるため、健診結果説明会において脳の健康度チェックを併せて実施します。